

地域銀行の令和4年9月期決算の概要

1. 損益の状況（銀行単体ベース）

○ 令和4年9月期の当期純利益は、債券等関係損益が悪化したものの、資金利益および株式等関係損益の増加や、経費の減少等により、前年同期に比べ、8.6%の増益。

（単位：億円）

	R2年9月期	R3年9月期	R4年9月期	前年同期比
業務粗利益	21,184	21,809	20,796	▲ 1,013
資金利益	18,191	18,676	19,522	846
役員取引等利益	2,458	3,028	3,157	129
その他業務利益	512	87	▲ 1,911	▲ 1,998
うち、債券等関係損益	277	▲ 175	▲ 2,677	▲ 2,502
経費	▲ 14,728	▲ 14,518	▲ 14,015	503
実質業務純益	6,456	7,290	6,780	▲ 510
コア業務純益	6,178	7,465	9,457	1,992
コア業務純益 （除く投資信託解約損益）	5,723	7,070	8,817	1,747
与信関係費用(※)	▲ 1,561	▲ 968	▲ 575	393
株式等関係損益	910	1,003	1,826	823
当期純利益	4,130	5,468	5,938	470

※ 与信関係費用について、正の値は益を、負の値は損を表す。

	R2年9月期	R3年9月期	R4年9月期
貸出金（末残）	288.0兆円	294.2兆円	305.5兆円

2. 不良債権の状況（銀行単体ベース）

○ 不良債権残高は令和4年3月期に比べ横ばい、不良債権比率は低下。

	R3年9月期	R4年3月期	R4年9月期
不良債権残高	5.4兆円	5.5兆円	5.5兆円
不良債権比率	1.81%	1.81%	1.78%

3. 自己資本比率の状況（銀行単体ベース）

○ 国際統一基準行の総自己資本比率は令和4年3月期に比べ低下した一方、国内基準行の自己資本比率は令和4年3月期に比べ上昇。

（国際統一基準行：11行）

	R4年3月期	R4年9月期
総自己資本比率	13.41%	12.41%
Tier1比率	12.93%	11.96%
普通株式等Tier1比率	12.93%	11.96%

（国内基準行：89行）

	R4年3月期	R4年9月期
自己資本比率	9.71%	9.72%

（注1）記載金額・比率は、四捨五入して表示。

（注2）R2年9月期の集計対象は103行（地方銀行64行、第二地方銀行38行及び埼玉りそな銀行）

R3年9月期～R4年9月期の集計対象は100行（地方銀行62行、第二地方銀行37行及び埼玉りそな銀行）

（注3）与信関係費用・不良債権の計数には、再生専門子会社分を含む。